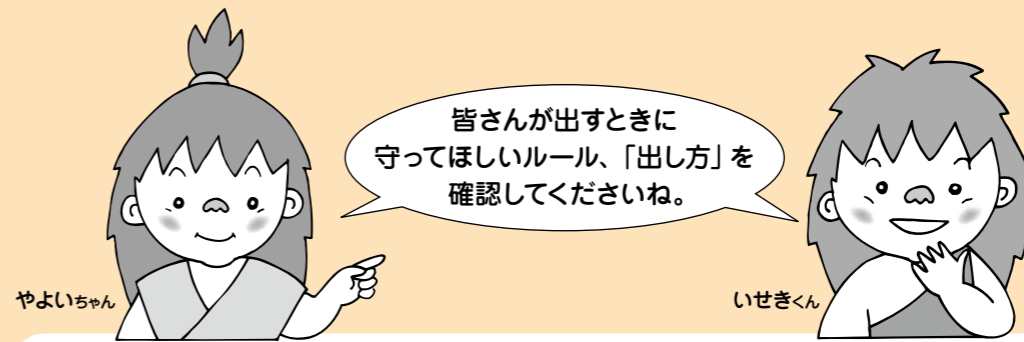


分別されたごみはどのようなものになるのか？ 分別されたごみは資源となります



毎日、分別して出しているごみ。集められた後は、どのようなになっているのでしょうか？“分別の仕方”と“ごみの行方”を追ってみました。

▶問合せ すこやか環境グループ ☎079(435)2721



① ペットボトル

加古郡リサイクルプラザで分別・圧縮・梱包して再生工場へ運搬します。破砕機でフレーク状に加工し、衣料用の原料や卵の包装パックなどに再生利用します。

出し方

- キャップとラベルを外し、中を軽く洗う（キャップとラベルはプラスチック容器類（みへ））
- 足で踏みつぶして小さくする



② プラスチック容器類

加古郡リサイクルプラザに一時保管した後、再生工場にて固形燃料に加工します。この固形燃料は、製紙工場の燃料として使用されます。

出し方

- プラスチック容器類とは、商品を入れたり、包んだりしている容器や包装です
- 中身の見える袋に入れ、口をしぼって出すこと



③ あき缶

塵芥処理センターでアルミ缶とスチール缶に分けて圧縮します。資源回収業者に売却したあと、鋼材などの原料になります。



出し方

- ペンキ缶は残ったペンキを必ず出す
- スプレー缶は必ず使い切り、穴を開けてガス抜きをする



④ あきびん

播磨町新島にある再生工場にて粉砕してからびんの原料として再生使用します。

出し方

- キャップを取り外し、中を軽く洗う
- 回収用のドラム缶に、無色・茶色・その他の3種類に分けて入れる



⑤ 紙類

資源回収業者を経て、再生紙になります。

出し方

- 新聞（広告を含む）、段ボール、雑誌・雑紙、紙パックに分ける
- 紐で十字にしぼって出す



⑥ 布類

資源回収業者を経て、ウエスや古着として再利用されます。

出し方

ごみ袋に入れて出す



⑦ 蛍光灯

専門業者によりガラス、金属、水銀、蛍光材料に分けて再生使用されます。

出し方

- 蛍光灯のみを壊さないように言い回収かごに入れる

⑧ 食用廃油

福祉施設にてバイオ燃料に精製され、ごみ収集車などの燃料として使用したり、加古郡リサイクルプラザでせっけんに再生利用しています。

出し方

- 回収容器の栓を開け、廃油を入れてください



⑨ 可燃ごみ

塵芥処理センターで焼却し、残った灰は東播磨港から船で神戸沖最終処分場に運び埋立てられます。

出し方

生ごみの水きりを十分にします

⑩ 不燃ごみ・粗大ごみ

加古郡リサイクルプラザで破砕し、金属類・可燃物・不燃物の3つに分けます。金属類は資源回収業者に売却、可燃物は塵芥処理センターで焼却、不燃物は神戸沖最終処分場に埋め立てられます。

